

香美市まち・ひと・しごと 創生総合戦略



次期総合戦略の策定に向けて

国及び県の総合戦略について

総合戦略の基本的考え方

- ▶ テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- ▶ 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、**地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- ▶ デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の模倣展開を加速化。**
- ▶ **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。**

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。**

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出等

2 人の流れをつくる

「転移なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり等

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進等

4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

1 デジタル基盤の整備

デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化等

2 デジタル人材の育成・確保

デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保等

3 誰一人取り残されないための取組

デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立等

地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

■ スマートシティ
スーパーシティスマートシティ
AICT
(福岡県北九州市)■ 「デジ活」
中山間地域抱い手減少に
対応した自動
販売機の導入■ 産学官
協創都市データを活用した
スマート農業の取組
(茨城県・茨城大学)■ 地域交通の
リ・デザイン移動手段の
再考
(茨城県南茨城町)

■ こども政策

保護者等との
オンライン情報
連携
(山梨県富士吉田市)

■ 教育DX

オンラインによる
遠隔授業
(鹿児島県三島市)

■ SDGs未来都市

地域交通システムや
コミュニケーション
ロボット等の活用
(茨城県石巻市)■ 観光業
先行地域バイオマス発電所
稼働による新産業
の創出
(岡山県真庭市)

■ 遠隔医療

データを活用した
スマート農業の取組
(茨城県・茨城大学)■ 地方創生
テレワーク空き家を活用した
サテライト
オフィスの構築
(福岡県豊前市)

■ 観光DX

観光アプリを活用
した観光客の
人流分析
(京都府京都市)■ 地域防災
力の向上GPS位置管理
システムの導入
(山形県酒田町)

地域ビジョン実現を支援し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ

✓関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示

重点支援

✓モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援

優良事例の模倣展開

✓他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、模倣展開

伴走型支援

✓ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化

✓自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進

重点支援

✓国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援

優良事例の模倣展開

✓地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

- 若年人口の増加により、持続可能な人口構造への転換を図るため、3つの目指すべき高知県像の実現に向けて施策を総動員

目指すべき 高知県像

いきいきと仕事が
できる高知

産業振興計画 等

いきいきと生活が
できる高知

教育大綱、健康長寿県構想 等

安全・安心な
高知

南海トラフ地震行動計画 等

戦略の目指す姿「将来を担う若者が、地域地域で魅力のある仕事に就き、いきいきと住み続けられる元気な高知県」

若年人口の増加

若年人口の減少傾向に、4、5年後までに歯止めをかけ、概ね10年後には現在の水準まで回復させることを目指す

戦略全体を貫く目標(R9)

○若年人口(34歳以下)：「若年人口の減少数(前年比)をゼロ」とする

社会増減の改善

自然増減の改善

A 若者の定着・増加

政策1

魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる

B 婚姻数の増加

政策2

結婚の希望をかなえる

C 出生数の増加

政策3

子どもを生み、育てたい希望をかなえる

人口の将来展望

若年人口の増加により、持続可能な人口構造への転換を図る

《将来展望》

人口 2060年：約55.7万人
[現状(2023年)：66.6万人]

出生率 2040年：2.07、2050年：2.27
[現状(2022年)：1.36]

社会増減 2040年：1,000人の社会増
[現状(2022年度)：324人の社会減]

政策1 魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる

主な数値目標(R9)

- 就業者数(15～34歳)：61,500人
- 人口の社会増減：「社会増減をプラス」にする

【基本的方向】

1 魅力のある仕事をつくる

- (1) 県内事業者の魅力向上
 - ① 事業者の質上げ環境の促進
 - ② 女性活躍の環境づくりの推進
 - ③ 多様な人材が定着・活躍しやすい労働環境の整備
- (2) 起業のさらなる促進
- (3) 若年層の雇用の受け皿となる企業誘致



2 新しい人の流れをつくる

- (1) 県内就職の促進
- (2) 移住の促進
- (3) 外国人材の活躍推進

政策2 結婚の希望をかなえる

主な数値目標(R9)

- 婚姻件数：2,500組

【基本的方向】

- 出会いや結婚を後押しする
- (1) 出会いの機会の創出
 - (2) 結婚支援の推進



政策3 子どもを生み、育てたい希望をかなえる

主な数値目標(R9)

- 出生数：4,200人

【基本的方向】

- 安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくり
- (1) 理想の出生数を叶える施策の推進
 - (2) 住民参加型の子育てしやすい地域づくり



政策実現に向けた条件整備

1 固定的な性別役割分担意識の解消

主な数値目標(R9)

- 県内企業における男性の育児休業取得率：64%

【基本的方向】

「男性が育児休業を取得するのが当たり前の高知」の実現に向けた重層的な取組をオール高知で推進

2 中山間地域の持続的な発展

主な数値目標(R9)

- 若年人口(34歳以下)の減少数(前年比)をゼロとする中山間地域の市町村数：34市町村

【基本的方向】

中山間地域再興ビジョンに基づく取組の推進

- (1) 若者を増やす
- (2) 暮らしを支える
- (3) 活力を生む
- (4) しごとを生み出す

3 デジタル実装の土台づくり

主な数値目標(R9)

- ① 居住地における光ファイバ等整備率(希望世帯ベース)：100%
- ② 高知デジタルカレッジにおける人材育成者数：400人

【基本的方向】

デジタル実装を下支えする取組の推進

- (1) 情報通信インフラの整備
- (2) デジタル化を支える人材の育成・確保

地域の実情に合わせて人口減少対策に取り組み市町村を「人口減少対策総合交付金」によりサポート

3 国と県の対応方針

【国】デジタル田園都市国家構想総合戦略

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、**デジタル技術の活用によって**、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を**加速化・深化**することとしています。

☆目標

2030年度までに**全ての地方公共団体**がデジタル実装に取り組むことを見据え、デジタル実装に取り組む地方公共団体を、2024年度までに**1,000団体**、2027年度までに**1,500団体**とする。

【県】高知県元気な未来創造戦略

将来を左右する**人口減少問題**を、県政における喫緊に取り組むべき最重要課題として位置づけ、**各施策を抜本的に強化**して取り組み、「将来を担う若者が、地域地域で魅力のある仕事に就き、いきいきと住み続けられる元気な高知県」を目指す。

☆目標

4、5年後までに若年人口の減少傾向に歯止めをかけ、**概ね10年後には現在の水準まで回復**させる。

国と地方（県・市町村）が連携・協力しながら推進することが必要であり、デジタル技術の浸透・進展など時宜を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした**地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築**した上で、地方版総合戦略の策定、改訂が必要である。（地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引きより）

デジタル技術の活用、県と連携した**人口減少問題の施策**を活用しつつ、香美市における**地域ビジョンを再構築**したうえで、次期総合戦略の策定を行う。

次期総合戦略の策定について

1 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

名称

(仮称)「第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 — デジタルの力を活用し 進化する自然共生文化都市・香美市 —

<名称設定の考え方>

これまでの地方創生の取組の成果や課題を検証し、人口減少問題の対策を継承・発展していくため、第3期目の「香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定し、引き続き戦略に基づく各施策を推進する。

また、国の「デジタル田園都市国家構想」の趣旨も踏まえ、本市においてもデジタル技術を活用し、課題の解決や魅力向上を図り、取組の加速化・深化を推進していく。

計画期間

令和7年度から令和11年度までの5年間を予定

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
国	デジタル田園都市国家構想総合戦略						
高知県	前期計画	高知県元気な未来創造戦略					
香美市	現行計画	(仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略					

1 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

推進体制

香美市まち・ひと・しごと 創生総合戦略審議会

- ・委員20名以内
- ・産官学金労言等の団体、
公募委員
(総合戦略策定及び見直し
に関する検証等)

審議
意見

パブリックコメント

審議
意見

庁内組織

香美市 まち・ひと・しごと創生 ・移住定住推進本部

- ・本部長（市長）
- ・副本部長（副市長・教育長）
- ・関係各課長

案の
提案

修正等
の指示

推進チーム

- | | |
|----------|----------|
| ・定住推進課 | ・農林課 |
| ・商工観光課 | ・健康推進課 |
| ・企画財政課 | ・教育振興課 |
| ・福祉事務所 | ・防災対策課 |
| ・建設課 | ・生涯学習振興課 |
| (班長級で構成) | |

協議内容
調 整

実施機関
関係各課

報告

意見

議
会

1 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

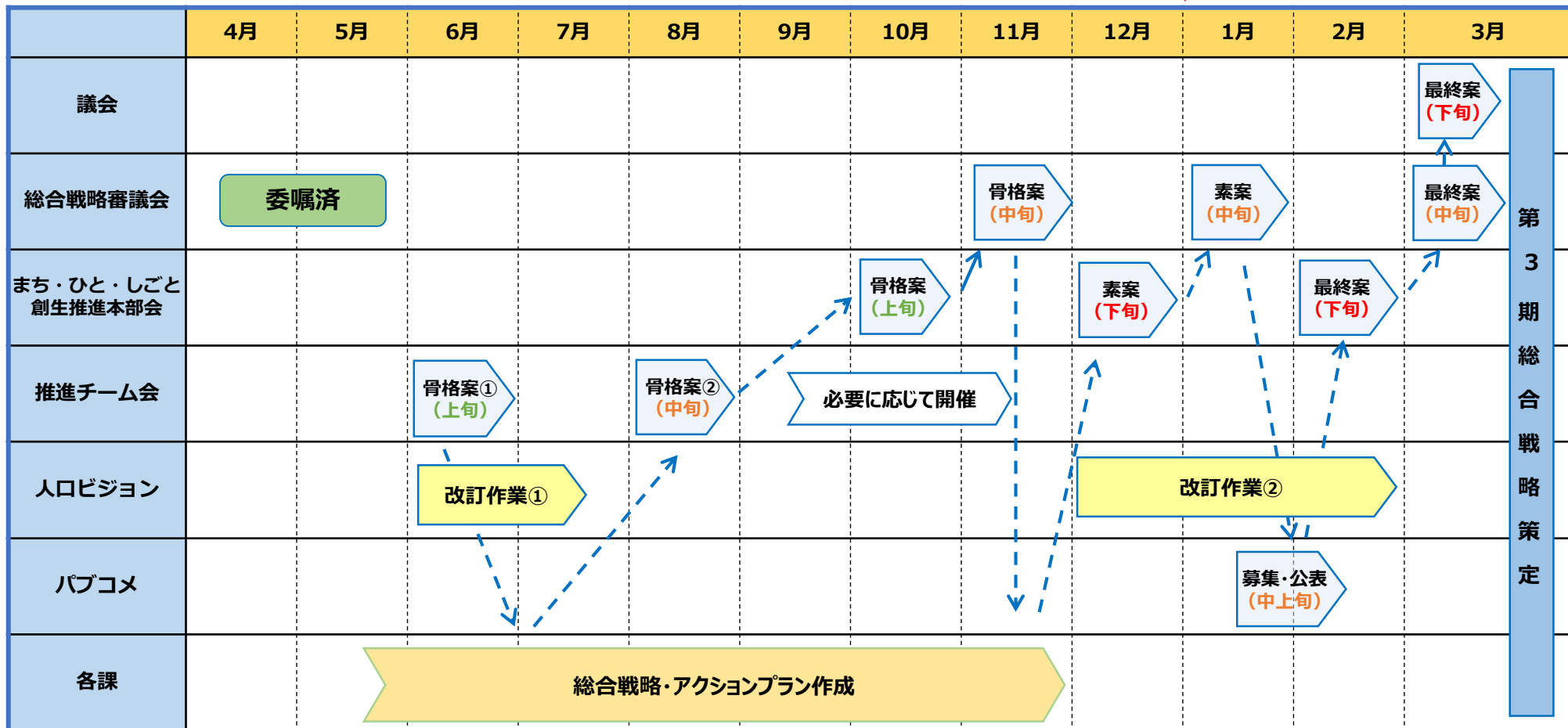
策定スケジュール

- ・令和7年3月に「(仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定予定。
- ・策定にあたりパブリックコメントを1月以降に実施。
- ・策定にあたっては、以下の組織で協議・審議のうえ策定。なお、議会には策定後に報告を行う。
推進チーム：各課の班長で構成。主に、本チームにて各案を策定する。
本部会：市長、副市長、教育長、各課の課長で構成。推進チームにて策定した案について協議を行う。
審議会：外部の委員で構成。本部会を経て策定した案について協議を行う。
- ・骨格案、素案、最終案と3段階で作成を行う。
骨格案：総合戦略における、基本構成、個別事業のKPIの作成
素案：総合戦略の本文及びアクションプラン
最終案：パブリックコメントの反映
- ・人口ビジョンについては、6月～7月にデータの整理・検証、12月～2月にかけて本文を改訂する。

1 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

策定スケジュール

※国において「新しい地方経済・生活環境創生」に向けた取組について、12月末に「基本的な考え方」を決定する



○推進チーム

- 第1回 骨格案① 基本方針の策定及び個別事業の選定
 第2回 骨格案② 基本方針及び個別事業のKPI検討（人口ビジョンを反映）

○人口ビジョン

- 改訂作業① 県・国データのまとめ、香美市版人口推計、各種統計数値
 改訂作業② 人口ビジョンの本文策定 ※アンケート実施については要検討

○本部会・審議会

- 第1回 骨格案 基本方針、個別事業のKPI設定について
 人口ビジョンのデータ公表
 第2回 素案 本文及びアクションプランの策定
 第3回 最終案 パブコメ反映後について

2 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略の構成について

基本目標・基本的方向

国の総合戦略を勘案し デジタル技術の活用等を踏まえた見直し

【基本目標1】

地域に根差した産業を振興し、安定した雇用を創出する

《基本的方向》

- 香美市にある地域に根ざした農林業や地場産業を中心に、若い世代の担い手の確保に重点を置いた雇用機会の創出に取り組む。
- 地域に根ざした産業の振興に取り組み、地元の人材の育成・定着を通じて、地域産業を支える人材の確保を図る。

【基本目標2】

香美市への新しい人の流れをつくる

《基本的方向》

- ホームページやSNS等を通じて香美市のPRに努める。
- 移住から定住に結びつけるために、NPO法人に業務委託して受入体制強化に繋げていく。移住希望者に分かりやすい情報源として、官民協働の「香美市移住定住推進協議会」を通じて、仕事や住居、地域情報や趣味の集いなど多様な情報を、香美市のポータルサイトに繋ぎ、移住促進に繋げる。
- 移住希望者と地域住民の情報を繋ぎ、地域の担い手確保に重点を置いた移住定住促進を行う。

【基本目標3】

子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・妊娠・出産の希望をかなえる

《基本的方向》

- 若い世代の結婚への希望をかなえ、安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに、地域や関係機関等と連携し地域全体で子育てを支える環境づくりを推進する。また、保健・教育・福祉等関係機関が連携し、妊娠期からの切れ目のない子育て支援体制を整備する。

【基本目標4】

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

《基本的方向》

- 人口減少と少子高齢化が進む地域では、住民同士の支え合いの力が弱まっている。今後、住み慣れた地域で安心して暮らすために、住民が主体となり、SDGsの理念に沿って持続可能な地域づくりを目指していく必要がある。近隣集落や外部人材（学生等）と連携して、女性や高齢者など誰もが活躍できる地域づくりを進めると共に、集落維持活性化に取り組む事業を推進する。

具体的な施策

県の人口減少問題施策を 踏まえた施策の検討

地域産業の競争力強化

人材還流・人材育成・雇用対策

移住の促進

関係人口の創出・拡大

結婚（出会い・結婚支援事業）

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

子ども・子育て支援の充実

教育環境の充実

中山間地域等における「小さな拠点」
（多世代交流・多機能型）の形成

地域防災力の向上

協働による定住の推進

見直し

具
体
的
な
事
業

3 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略への見直しについて

地域ビジョン (地域が目指すべき理想像)

国において、自治体が抱える社会課題の解決を図るため、自らの「地域ビジョン (地域が目指すべき理想像)」を再構築した上で、地方版総合戦略を改訂するよう求められていることから、(仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、将来の理想像の実現に向けた方向性を示す「**地域ビジョン**」を定める。

デジタルの力を活用し 進化する自然共生文化都市・香美市

<香美市 地域ビジョン>

本市の山や川など美しく豊かな自然や多様な文化は、香美市の財産です。その中で、私たちは共に支え合い、生活・文化・産業が生まれ育まれてきました。また、街や里には、それぞれの自然環境に調和した快適な住環境、誰にも魅力的な賑わいのあるまち、あたたかい支え合いに守られた居心地の良いコミュニティがあります。

本市は、これからも地域の自然に根ざした産業や生活の営みを通じて、共に支え合い、自然と共生する文化都市として、自然・文化・産業を磨き、未来に向けて進化を続けます。 ～香美市振興計画より～

「進化する自然共生文化都市・香美市」の実現にあたっては、本市の喫緊の課題である人口減少対策と持続可能なまちづくりが必要であることから、第2期総合戦略の取組を継承しつつ、デジタル技術を活用することで、課題の解決や魅力向上を図り、取組を加速化していきます。

3 (仮称) 第3期香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略への見直しについて

国

デジタル田園
都市国家構想

<香美市 地域ビジョン>

デジタルの力を活用し進化する自然共生文化都市・香美市

人口減少対策

持続可能なまちづくり

デジタル技術の活用

地域の魅力向上

県

人口減少問題施策
(人口減少対策交付金)

◆基本目標 1

魅力ある産業を振興し、安定した雇用を創出する

- 香美市にある地域に根ざした農林業や地場産業を中心に、若い世代の**担い手の確保**に重点を置いた雇用機会の創出に取り組む。
- 香美市にある地域資源を活かし、**デジタル技術を活用した企業等の誘致を促進**し、多様な人材・知・産業を集積させることで、新たな産業の創出を図るとともに、地域産業の振興など地域の活性化を図っていく。

地域産業の競争力強化

人材還流・人材育成・雇用対策

◆基本目標 2

香美市への新しい人の流れをつくる

- ホームページやSNS等を通じて、幅広い世代の移住希望者に対して効果的な情報発信に取り組むとともに、**移住希望者と地域住民の情報を繋ぎ**、地域の担い手確保に重点を置いた移住定住促進を行う。
- オンラインによる移住交流体験ツアーやお試し移住体験を実施し、移住希望者に住環境などを体験し、香美市の魅力を感じてもらい、移住定住に繋げていく。

移住の促進

関係人口の創出・拡大

◆基本目標 3

子どもを産み育てやすい環境をつくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 若い世代の結婚への希望をかなえ、安心して子どもを生み育てることができるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに、地域や関係機関等と連携し**地域全体で子育てを支える環境づくりを推進**する。また、保健・教育・福祉等関係機関が連携し妊娠から切の目のない子育て支援体制を整備する。
- 教育環境の充実を図り、**一人ひとりの子どもに寄り添った教育**を実現し、確かな学力の推進・きめ細やかな教育を推進する。

結婚の希望を叶える

子ども・子育て支援の充実

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

教育環境の充実

◆基本目標 4

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 住み慣れた地域で安心して暮らすために、**住民が主体となり**、近隣集落や外部人材(学生等)と連携して、女性や高齢者など誰もが活躍できる地域づくりを進めると共に、集落維持活性化に取り組む事業を推進する。
- 行政相互間や大学、企業等との連携・協力により、デジタル技術も活用しながら効果的な施策等を展開**することで、地域経済の活性化や豊かな地域社会の実現を目指す。

中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の維持

地域防災力の向上

協働による定住の推進